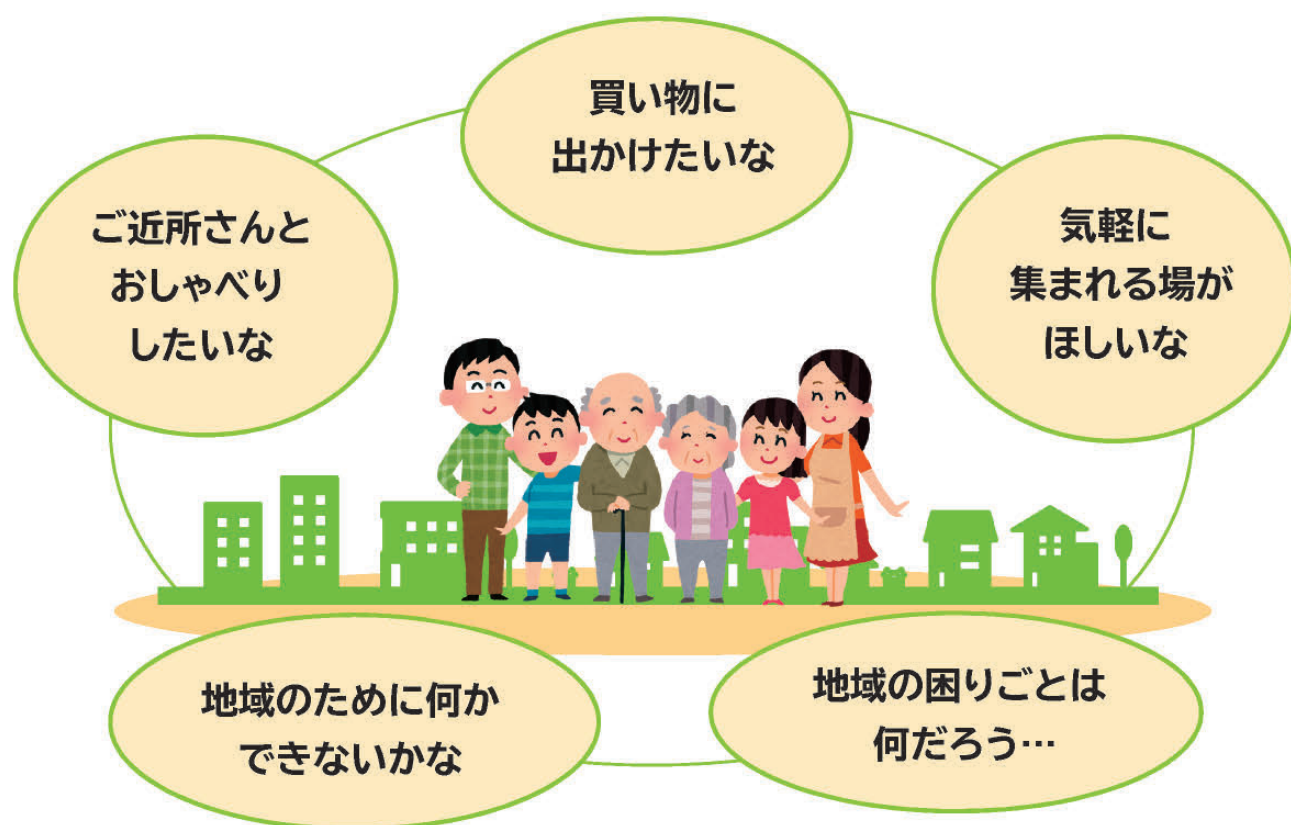


生活支援体制整備事業

お互い様の地域づくり

～誰もがつながり合って・支え合う地域づくりのために～

みんなで広げよう支え合い



生活支援体制整備事業とは…

生活支援体制整備事業では、ひとり暮らしや支援を必要とする高齢者が増える中、住み慣れた地域で生きがいを持って生活を送ることができるよう高齢者の生活支援・介護予防の充実に取り組みます。

生活支援コーディネーターが地域の実情把握を行い、必要に応じて高齢者に必要な生活支援サービス等の情報提供に努めながら、時には、既存のサービスでは対応できない課題に対して、生活支援体制整備推進協議会のネットワークを生かしながら、地域をはじめ様々な主体と連携・協働して高齢者を支援していきます。

高齢者の生活支援を通じて地域の互助を高め、かつ高齢者が社会参加し、いきいきと暮らすことができる地域づくりを目指して取り組みを進めていきます。

身近な通いの場を

身近な通いの場づくり

現在、社会福祉法人が地域貢献事業として実施している介護予防の取り組みで、身近な通いの場づくりを広げています。

地域の高齢者が可能な限り住み慣れた地域において、元気にいきいきと組むサロンや集まりの場に社会福祉法人の介護職員等が出向き健康体操を教室の展開に努めていきます。

身近な通いの場を 広げていく担い手

サロンなどの集いや交流の場を訪問し、介護予防の効果や住民同士のつながりづくりになり得る社会資源を把握し、関係者と連携・協働し、身近な通いの場づくりをしています。



生活支援コーディネーター

社会資源の把握

サロンなどの地域内の居場所や集いの場、生活支援に関する取り組みを行う団体やその取り組み内容の把握を行う。

ニーズの把握・共有

地域に出向いたり、関係機関の会議に出席し、個人や地域の困りごとを把握し、住民や関係機関と一緒に助け合いや支え合いを考えていく。

担い手の育成・掘り起こし

地域の困りごとに対する担い手を養成し、併せて、高齢者をはじめとする地域住民が助け合いや支え合い活動に参加できるようにする。

ニーズとサービスの調整

困りごとに対し、利用できるサービス等につなぐ。不足するサービスは、関係者のネットワークや既存の取り組み等を活用しながら創出。

活かした地域づくり

組みを参考にしながら、そのノウハウを活かし、市内全域に市の事業として、

生活できるよう、地域コミュニティや老人クラブをはじめ様々な団体を取り
提供したり、社会福祉法人が地域貢献事業として独自に取り組む介護予防



地域貢献事業における 介護予防の取り組み

地域貢献事業における介護予防の取り組みのノウハウを活かし、サロン事業を実施する地域コミュニティや老人クラブをはじめ様々な主体との協働や独自の教室運営等により、介護予防の取り組みを行っています。



効果

健康増進だけではなく、生きがいづくりにもつながり、それらは介護予防に良い影響を与えます。また、この通いの場を活かした住民同士の顔の見える関係が、各地域における高齢者の生活の困りごとの気づきにつながり、地域における助け合いや支え合いができる地域づくりが期待できます。

生活支援

【スマイルサポート】

- ・個別ニーズへの対応
- ・例年の養成研修



移動支援

【まごころヘルプ】

- ・個別ニーズへの対応

【移動・外出の情報提供】

- ・公共交通、その他の移動手段等

見守り・安否確認

【社協助成事業】

- ・安心・安全・地域の支え合い
- ・見守り事業、地域課題解決事業



ボランティア

その他

【その他】

- ・買物支援や通いの場への送迎 など



高齢者がいきいきと暮らせる地域、
地域もそれを支える地域へ



社会福祉
法人

見附市社会福祉協議会

〒954-0052 見附市学校町 2-13-30 (保健福祉センター内)

TEL (0258) 61-1353 FAX (0258) 62-7053

URL <http://www.m-shakyo.net/>

Mail mitsuke@shakyo.net

